

平成 27 年 8 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社 オ プ ト ロ ム
代表者名 代表取締役社長 竹下 俊弘
(コード番号：7824 名証セントレックス)
問合せ先 管 理 部 長 佐藤 政治
(電話番号 0 2 2 - 3 9 2 - 3 7 1 1)

(訂正・数値データ訂正あり)

「平成 27 年 3 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は平成 26 年 8 月 13 日に開示しました「平成 27 年 3 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。

1. 提出理由

訂正内容と理由につきましては、平成 27 年 7 月 30 日付「第三者委員会の調査報告書(最終報告)の受領に関するお知らせ」及び平成 27 年 8 月 5 日付「過年度に係る四半期決算短信の訂正等に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正内容

訂正内容には__を付して表示しております。

【訂正前】

<サマリー情報>

(百万円未満切捨て)

1. 平成 27 年 3 月期第 1 四半期の業績 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期第 1 四半期	303	—	<u>△141</u>	—	<u>△166</u>	—	<u>△170</u>	—
26 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27 年 3 月期第 1 四半期 △170 百万円 (—%) 26 年 3 月期第 1 四半期 一百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27 年 3 月期第 1 四半期	<u>△3.33</u>	—
26 年 3 月期第 1 四半期	—	—

※ 1 平成 27 年 3 月期第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 26 年 3 月期第 1 四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1 株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27 年 3 月期第 1 四半期	<u>1,794</u>	<u>△269</u>	<u>△15.6</u>	<u>△4.93</u>
26 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27 年 3 月期第 1 四半期 △279 百万円 26 年 3 月期 一百万円

※ 平成 27 年 3 月期第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 26 年 3 月期の数値は記載しておりません。

<添付資料 2 ページ>

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

【略】

その結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は 303,901 千円、営業損失は 141,314 千円、経常損失は 166,801 千円、当期純損失は 170,024 千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【略】

(インターネット広告事業)

当第 1 四半期累計期間においては、事業開始のための準備を行なっておりました。事業については平成 26 年 7 月 17 日より開始をしております。

その結果、インターネット広告事業実績は、営業損失 32,032 千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

株式会社オプトガイア、株式会社オプत्रीフ、株式会社オプトファームを子会社化したことに伴い、当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、1,794,254 千円、純資産は △269,325 千円となりました。この結果、自己資本比率は △15.6% となりました。

<添付資料 3 ページ>

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、7 期連続して経常損失および当期純損失を計上しており、当第 1 連結会計期間末において、269,325 千円の債務超過の状態であります。

<添付資料4 ページ>

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	40,790
受取手形及び売掛金	209,933
商品及び製品	35,481
仕掛品	2,867
原材料及び貯蔵品	56,053
その他	62,610
貸倒引当金	<u>△1,616</u>
流動資産合計	<u>406,122</u>
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	297,487
機械装置及び運搬具（純額）	148,792
土地	666,589
その他（純額）	149,075
有形固定資産合計	<u>1,261,944</u>
無形固定資産	39,065
投資その他の資産	86,380
固定資産合計	<u>1,387,390</u>
繰延資産	742
資産合計	<u>1,794,254</u>
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	102,347
短期借入金	1,091,022
1年内返済予定の長期借入金	171,400
未払金	165,760
未払法人税等	1,524
その他	55,165
流動負債合計	<u>1,587,220</u>
固定負債	
長期借入金	453,826
繰延税金負債	22,153
その他	380
固定負債合計	<u>476,359</u>
負債合計	<u>2,063,579</u>

純資産の部

株主資本	
資本金	1,245,884
資本剰余金	845,424
利益剰余金	<u>△2,371,017</u>
自己株式	△44
株主資本合計	<u>△279,753</u>
新株予約権	10,428
純資産合計	<u>△269,325</u>
負債純資産合計	<u>1,794,254</u>

<添付資料 5 ページ>

(2) (四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書)

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	303,901
売上原価	340,763
売上総損失(△)	△36,862
販売費及び一般管理費	<u>104,452</u>
営業損失(△)	<u>△141,314</u>
営業外収益	
受取手数料	1,851
為替差益	792
その他	298
営業外収益合計	<u>2,943</u>
営業外費用	
支払利息	19,127
支払手数料	7,252
その他	2,050
営業外費用合計	<u>28,430</u>
経常損失(△)	<u>△166,801</u>
特別損失	
固定資産除却損	1,351
特別損失合計	<u>1,351</u>
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△168,152</u>
法人税、住民税及び事業税	432
法人税等調整額	1,438
法人税等合計	1,871
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△170,024</u>
少数株主利益	—
四半期純損失(△)	<u>△170,024</u>

<添付資料6 ページ>

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△170,024</u>
四半期包括利益	<u>△170,024</u>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△170,024</u>
少数株主に係る包括利益	—

<添付資料7 ページ>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、7期連続して経常損失および当期純損失を計上しており、当第1四半期連結会計期間末において、269,325千円の債務超過の状態であります。

<添付資料8 ページ>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	デジタル コンテンツ	E・COOL	インター ネット広告	計				
売上高								
外部顧客への売上高	260,678	43,223	—	303,901	—	303,901	—	303,901
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	260,678	43,223	—	303,901	—	303,901	—	303,901
セグメント利益又は 損失(△)	△100,726	17,270	<u>△32,032</u>	<u>△115,488</u>	<u>△7,436</u>	<u>△122,925</u>	△18,389	<u>△141,314</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、閉鎖型野菜工場事業および高栄養飼料製造事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18,389千円は、主に報告セグメントに配分していない一般経費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

<添付資料 8 ページ>

(重要な後発事象)

(新規事業の開始)

当社及び当社の100%子会社である株式会社オプトガイアは、平成26年7月17日付の両社取締役会において、株式会社オプトガイアにおいてインターネット広告事業を開始する旨の決議をいたしました。

1. 新規事業の内容 : インターネットによる広告関連事業
2. 新規事業開始の時期 : 平成26年7月17日
3. 当該新規事業が営業活動に及ぼす重要な影響 : 影響が軽微であります
4. その他重要な事項 : 特になし

【訂正後】

< サマリー情報 >

(百万円未満切捨て)

1. 平成 27 年 3 月期第 1 四半期の業績 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期第 1 四半期	303	—	<u>△111</u>	—	<u>△138</u>	—	<u>△249</u>	—
26 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27 年 3 月期第 1 四半期 △249 百万円 (—%) 26 年 3 月期第 1 四半期 一百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27 年 3 月期第 1 四半期	<u>△4.88</u>	—
26 年 3 月期第 1 四半期	—	—

※ 1 平成 27 年 3 月期第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 26 年 3 月期第 1 四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1 株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27 年 3 月期第 1 四半期	<u>1,714</u>	<u>△348</u>	<u>△20.9</u>	<u>△6.33</u>
26 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27 年 3 月期第 1 四半期 △359 百万円 26 年 3 月期 一百万円

※ 平成 27 年 3 月期第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 26 年 3 月期の数値は記載しておりません。

< 添付資料 2 ページ >

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

【略】

その結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は 303,901 千円、営業損失は 111,314 千円、経常損失は 138,653 千円、当期純損失は 249,475 千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【略】

(インターネット広告事業)

当第 1 四半期累計期間においては、事業開始のための準備を行なっておりました。事業については平成 26 年 7 月 17 日より開始をしております。

その結果、インターネット広告事業実績は、営業損失 2,032 千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

株式会社オプトガイア、株式会社オプत्रीフ、株式会社オプトファームを子会社化したことに伴い、当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、1,714,654 千円、純資産は △348,776 千円となりました。この結果、自己資本比率は △20.9% となりました。

< 添付資料 3 ページ >

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、7 期連続して経常損失および当期純損失を計上しており、当第 1 連結会計期間末において、348,776 千円の債務超過の状態であります。

<添付資料4 ページ>

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		40,790
受取手形及び売掛金		209,933
商品及び製品		35,481
仕掛品		2,867
原材料及び貯蔵品		56,053
その他		127,810
貸倒引当金		<u>△109,216</u>
流動資産合計		<u>363,722</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）		297,487
機械装置及び運搬具（純額）		148,792
土地		666,589
その他（純額）		149,075
有形固定資産合計		<u>1,261,944</u>
無形固定資産		<u>1,865</u>
投資その他の資産		<u>86,380</u>
固定資産合計		<u>1,350,190</u>
繰延資産		<u>742</u>
資産合計		<u>1,714,654</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金		102,347
短期借入金		1,091,022
1年内返済予定の長期借入金		171,400
未払金		165,760
未払法人税等		1,524
その他		<u>55,017</u>
流動負債合計		<u>1,587,072</u>
固定負債		
長期借入金		453,826
繰延税金負債		22,153
その他		380
固定負債合計		<u>476,359</u>
負債合計		<u>2,063,431</u>

純資産の部

株主資本	
資本金	1,245,884
資本剰余金	845,424
利益剰余金	<u>△2,450,469</u>
自己株式	△44
株主資本合計	<u>△359,204</u>
新株予約権	10,428
純資産合計	<u>△348,776</u>
負債純資産合計	<u>1,714,654</u>

<添付資料 5 ページ>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	303,901
売上原価	340,763
売上総損失(△)	△36,862
販売費及び一般管理費	74,452
営業損失(△)	△111,314
営業外収益	
受取手数料	—
為替差益	792
共同制作事業収益金	228
その他	69
営業外収益合計	1,091
営業外費用	
支払利息	19,127
支払手数料	7,252
その他	2,050
営業外費用合計	28,430
経常損失(△)	△138,653
特別損失	
固定資産除却損	1,351
貸倒引当金繰入額	107,600
特別損失合計	108,951
税金等調整前四半期純損失(△)	△247,604
法人税、住民税及び事業税	432
法人税等調整額	1,438
法人税等合計	1,871
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△249,475
少数株主利益	—
四半期純損失(△)	△249,475

<添付資料 6 ページ>

(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月 30 日)	
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△249,475</u>
四半期包括利益	<u>△249,475</u>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△249,475</u>
少数株主に係る包括利益	—

<添付資料 7 ページ>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、7 期連続して経常損失および当期純損失を計上しており、当第 1 四半期連結会計期間末において、348,776 千円の債務超過の状態であります。

<添付資料 8 ページ>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デジタル コンテンツ	E・COOL	インター ネット広告	計				
売上高								
外部顧客への売上高	260,678	43,223	—	303,901	—	303,901	—	303,901
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	260,678	43,223	—	303,901	—	303,901	—	303,901
セグメント利益又は 損失(△)	△100,726	17,270	<u>△2,032</u>	<u>△85,488</u>	△7,436	<u>△92,925</u>	△18,389	<u>△111,314</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、閉鎖型野菜工場事業および高栄養飼料製造事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18,389千円は、主に報告セグメントに配分していない一般経費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

<添付資料 8 ページ>

(重要な後発事象)

(新規事業の開始)

当社の100%子会社である株式会社オプトガイアにおいて、平成26年7月17日付にてインターネット広告事業を開始いたしました。

なお、当該新規事業の開始につきましては、平成26年7月17日に株式会社オプトガイアで取締役会決議がなされましたが、株式会社オプトコムでは正式に取締役会決議をしておりません。

株式会社オプトコムでは、平成27年7月17日に、全取締役に対してe-mailによる議案の配布がなされましたが、いわゆる「みなし開催」の要件を満たしておらず、同年7月22日の定時取締役会が開催され、新規事業の開始について報告がされたのみとなります。

1. 新規事業の内容 : インターネットによる広告関連事業
2. 新規事業開始の時期 : 平成26年7月17日
3. 当該新規事業が営業活動に及ぼす重要な影響 : 影響が軽微であります
4. その他重要な事項 : 特になし